

—千田家から岩手県立博物館へ—

千田家文書 贈呈式典・記念行事(報告会)

これまでの研究によれば、戦国時代に起こり、砂子浜(現、岩手県大船渡市三陸町綾里字砂子浜)に集落を開いたと伝わる千田家。江戸時代には、漁業・林業などを営み、生産物を江戸など遠隔地へ移出する廻船商人でもあり、仙台藩治下の綾里村の肝入という公的役職にも就いてきました。明治時代以降も区長・村長など公的な役職に就くなど、文字通り地域の顔役をつとめてきました。この千田家で代々引き継がれてきた約36,000点の古文書は早くから研究者の注目を集めてきました。まさに質量ともに、全国的に見ても貴重な歴史資料群といえます。

千田家文書は、東日本大震災津波、先代御当主の逝去などを契機に、公的機関への寄贈が検討されてきました。今般の林野火災など度重なる危機を乗り越え、このほど岩手県立博物館に寄贈されることになりました。その贈呈式典と記念行事(報告会)を千田家において執り行います。

皆さま、お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

日時:令和7年8月31日(日)11時00分～12時00分(開場10時30分)

会場:千田家(岩手県大船渡市三陸町綾里字砂子浜48番地) ※裏面地図参照

〈式次第〉

贈呈式典 11時00分～11時15分 進行:大銚地駿佑(岩手県立博物館専門学芸員)

開式

贈呈の辞と資料贈呈 千田家・千田家文書研究会

謝辞 坂本美知治(岩手県立博物館長)

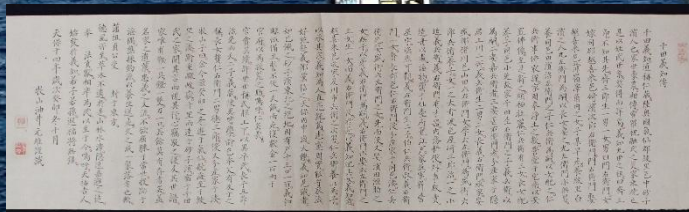
閉式

記念行事(報告会) 11時15分～12時00分

報告 齋藤善之(東北学院大学教授)「千田家文書の世界 調査の経緯と文書の意義」

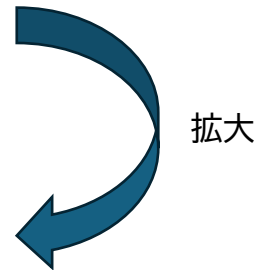
入場無料
予約不要

主催・お問い合わせ先:岩手県立博物館 歴史部門 Tel:019-661-2831



千田家の所在地と駐車場案内

・大船渡から千田家までの公共交通手段はありません。タクシー等をご利用ください。



駐車場は海岸船着場の駐車場をご利用ください

